

重点5 文化・芸術活動の充実

ねらい

豊かな心は、自然体験・社会体験・生活体験など、さまざまな体験を通して育まれます。とくに質の高い文化・芸術体験は子どもたちの豊かな感性を育てるために不可欠です。

すべての園や学校で、質の高い文化・芸術にふれる機会がつけられ、豊かな心を育ていけるよう、学校への支援を行います。

現状

○ 「芸術鑑賞教室」の取組

- 平成19年度各学校での「芸術鑑賞教室」実施状況

		幼稚園 (24 園)	小学校 (40 校)	中学校 (22 校)
実施校園数		24 園	40 校	10 校
一人あたり平均参加回数		1.4 回	1.3 回	0.4 回
実施内容 (校園数)	演劇	24 園	31 校	0 校
	音楽	11 園	21 校	7 校

- 外部からの助成を受けて「芸術鑑賞教室」を実施した学校もあります。

事業名	主催・助成団体	内容	実施校
中・高校生の為の能・狂言教室	日本財団	能楽	港中・笹川中
子ども・夢・アート・アカデミー	文化庁	短歌指導	保々小
学び舎音楽会	四日市市文化振興財団	室内楽 管弦楽 邦楽	保々小・県小・楠小・大矢知興讓小・羽津北小・中央小・常磐西小・下野小・三重小・内部東小・泊山小・塩浜小・八郷小・笹川西小・三重平中・大池中
公共ホール音楽活性化事業	(財) 地域創造	バイオリン コンサート	浜田小

- プロの芸術家を招いて芸術鑑賞教室を行った学校の他、同じ中学校区の中学校の吹奏楽部による演奏会や、地区文化祭鑑賞や博物館で開かれている展覧会を鑑賞するなど、各園・学校で工夫して様々な取組が行われています。

○ 我が国や郷土の伝統音楽に関する体験について

- 小・中学校の音楽の授業や総合的な学習の時間の中で、また、幼稚園においても我が国や郷土の伝統音楽にじかにふれる体験を行っています。
- 小学校では和太鼓、中学校では箏そうの演奏などの体験が多く、尺八・三味線などの楽器、地域に伝わる祭りや踊りなどの体験を行っている園・学校もあります。

第3章 子どもたちを指導する上で特に重要と考えるもの

○ 三泗教育発表振興会の取組

- ・ 本市と三重郡が組織する三泗教育発表振興会では、文化・芸術活動等の推進のため、各教科の研究協議会を中心に、児童生徒の日頃の学習の成果を発表できる場を設けています。
- ・ 活動の内容をより多くの人に知ってもらえるように、ホームページを開設して、活動の様子や作品の紹介をしています。
- ・ 平成19年度三泗教育発表振興会各事業部発表会等実績

名称		期日	場所	内容等
小・中学校科学展 小・中学校社会科作品展		9/8(土) ～9/11(火)	四日市市文化会館 第1展示室	参観者数 5,003 名 科学展出品点数；小学校 343・中学校 242 社会科展出品点数；小学校 296・中学校 142
小学校科学研究発表会		10/6(土)	環境学習センター	参加校 6 校 11 名
小・中学校 音楽会	小学校	11/15(木) ～11/16(金)	四日市市文化会館 第1ホール	参加校 49 校
	中学校	11/8(木) ～11/9(金)	四日市市文化会館 第1ホール	参加校 30 校
小・中学校美術展		1/19(金) ～1/25(木)	四日市市文化会館 第1展示室 第3展示室	参観者数 4,694 名 参加校数；小学校 50 校, 中学校 28 校 小学校；平面作品数 492・立体作品数 409 中学校；平面作品数 449・立体作品数 291
小・中学校書写展覧会		1/26(土) ～1/30(水)	四日市市文化会館 第1展示室	参観者数 4,026 名 出品点数；小学校 771・中学校 339
中学校英語 スピーチコンテスト 英作文コンテスト		11/13(火)	総合会館 視聴覚 室・第1研修室	参加校数；スピーチコンテスト 29 校 英作文コンテスト 29 校
小・中学校特別支援学級 学習発表会		2/15(金) ～2/16(土)	四日市市文化会館 第2ホール 第1展示室	参加校数；小学校 41 校・中学校 22 校
小学校陸上記録会		10/16(火)	四日市市中央緑地 陸上競技場	参加児童数 1,005 名

課題（今後の方向）

- 家庭において、文化・芸術的な活動に親しむ子どもはまだ少ないため、今後も、学校において、質の高い文化・芸術にふれる機会を多くし、豊かな心をもった児童生徒を育成していく必要があります。そのために、関係機関と協力して「芸術鑑賞教室」等の実施に役立つ情報の提供やふさわしいメニューの紹介をしたり、我が国や郷土の文化・音楽に親しむための方法・工夫などについて情報提供をしたりするなど、さまざまな支援を行っていきます。
- 三泗教育発表振興会の各事業は、児童生徒自身の学習成果の発表とともに、他の児童生徒の作品や発表の鑑賞によって、質の高い作品づくりや発表の工夫を学ぶことから、自らの学習意欲を向上させることにつながります。今後も充実した取組を継続していく必要があります。